



金田 昭司さん(80)
けい子さん(75)
東和町・米谷3区
1969(昭和44)年6月入籍

孫への「いつだってっしやい」が楽しみ

★二人のなれ初めは
【二人】あの時代だったから仲間さんの紹介だったね。
★お互いの第一印象は
【昭司】温厚そうで良いなと思ったよ。
【けい子】優しくそうだったね。デートして草むらに腰掛けるときに、ハンカチ敷いてくれたのを覚えているよ。
★結婚当時の思い出は
【昭司】新婚旅行で福島に行ったね。でも5月だったから、旅行中も家業の農作業のことで頭がいっぱいだったな(笑)。
【けい子】畜産もしてたし仕事で忙しかった。途中から新聞販売店を始めて、災害のときでも休み無しで働いたね。
★お互いの良いところは
【昭司】料理が上手で、きんぴらごぼうなんかはうんとうまいんだ。
【けい子】たくさん働かし、しっかりしてるよ。
★夫婦円満のコツは
【二人】お互いの波長が合っていることかな。
★現在の楽しみは
【けい子】隣に住んでいる孫に毎朝「いつだってっしやい」を言うのが楽しみだよ。
★これからしたいことは
【昭司】健康でいられることが一番だね。毎日おいしいご飯を食べられて何よりだよ。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「故郷での子ども時代」

私の故郷は津山町横山の奥まった山間で、私は農家の六男として生まれました。
生まれた年、日本は米国へ宣戦布告し、第二次世界大戦へと突き進みました。私が物心ついたときには敗戦の色が濃くなり、横山の空一面にも敵機が編隊を組んで仙台方向に飛んでいきました。なんのためにどこからこれほど来ているのだろうと、心を躍らせながら空を見上げていたことを思い出します。
それから間もなく終戦になり、叔父たちが戦地から復員してきました。大家族になり、「5升の米を炊いても朝食と弁当で無くなる」と、母が悲鳴を上げていました。この頃から糧飯が当然のような時代に

遠藤 日出正さん(79)

在京津山会計幹事
津山町(横山11区)出身



入ったのかと思います。終戦から2年半が過ぎたころです。小学校入学前、母と町に出かけたのですが、その日は横山が大火に襲われた日でした。火事の情報を聞き、母と走って家まで帰ったのですが、風が強くなり、火に追われるような思いで家に帰りました。その晩は、田んぼで豊を敷いて寝たことを覚えています。
小学生になると、春は山菜採りに、秋にはキノコ採り、栗拾いと、母に連れていかけてもらったことが、優しくも母との懐かしい思い出です。
この世に生まれて80年。夏に帰省すると、当時子どもであったこの老人を今でも覚えているかのように、虫が舞い踊り、地元の人々の温かい気持ちがコロコロと出迎えてくれます。それを昔と変わらぬ満天の星空と山河が応援して、私を歓迎しているかのように感じ、年のせいかわり涙があふれてきます。
人生の一こまを振り返りました。今は前代未聞の疫病コロナに人類が勝利し、穏やかな明日が訪れることを願うとともに、登米市民皆さまが素晴らしい故郷で、穏やかに楽しい日々を送れますよう心からお祈り申し上げます。

おらほの道の駅

道の駅米山
「ふる里センターY・Y」



これからの時期はトマトやキュウリがおすすめ。石越醸造の酒粕などこだわりの飼料で育った「喜酔純米豚」も人気です。

今月は、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎準一郎駅長にお話を伺いました。
Q 道の駅の特徴などについて教えてください
最大のイベントのチューリップ祭りや夏の花火大会、敷地内の土俵で開催する相撲大会など、一年を通して、さまざまなイベントを実施しています。なお、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とします。
Q 人気商品やおすすめ商品などを教えてください
季節ごとに、イチゴやトウモロコシなど旬の食材を使用



横網が描かれたあらい食品の手揚げや小揚、米山納豆、絹ごし豆腐、木綿豆腐

して作っているソフトクリームが人気です。これからの時期はパッションフルーツソフトが始まります。
第3代横網丸山権太左衛門の出身地として、おすすめしたいのがあらい食品の揚げなどの大豆食品です。パッケージには横網のイラストが描かれており、横網グッズと



放送に合わせて、各種商品を取り揃えた「おかえりモネ特設コーナー」

しても楽しめます。
また、ヤマカノ醸造の焼肉のたれをはじめとした「おかえりモネ」の関連商品も続々と入荷していますので、放送と共に楽しんでください。
【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」
0220(55)2747

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集!
●8月号は短歌です。住所・氏名電話番号を記入し、6月30日(水)まで応募ください。作品氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句
梅雨晴れてゆるり風車の回る日よ
かくれんぼ一位の樹下は五月闇
組板をはみ出してゐる初鰹
落人の里に新居や鯉のぼり
風はらむ稚児の前髪初織
婿取りの寺の濡れ縁蟻地獄
夏落葉寺に見慣れぬ女下駄

- 櫻井 邦子 (迫)
千葉 泰子 (迫)
及川 豊子 (東和)
大橋 久子 (東和)
大平 清登 (東和)
小野寺 好道 (東和)
石川 敦子 (中田)

振り花かなわぬ想いじつと咲く
春光に空いっばいの花水木
鎮魂の丘より生れし紋白蝶
母縫いし浴衣姿の夫恋いし
豊かなる五月の風は登米の地に
梅雨晴に彩雲映るし登米の空
春日より祝米寿も種まきし
後輩の手振る姿見えず卒業

- 菊地 完二 (中田)
山内 晨 (中田)
山内 雅子 (中田)
今野ひろ子 (豊里)
櫻井ひとみ (豊里)
三浦 健治 (石越)
高橋 榮子 (南方)
千葉 逢杜 (南方)

応募総数45作品